

IBM® LinuxONE Expert Care

可用性を最適化し、コストを削減するための簡素化されたサポート・アプローチ

■
ハイライト
ビジネスニーズに合わせて適切な期間を選択

24時間年中無休でハードウェアに関するサービスを受ける

IBM Call Homeテクノロジーによる予測アラートの活用

サポート範囲をカスタマイズ

ビジネスに欠かせないアップタイムの維持

計画外のダウンタイムはビジネスに重大な影響を与える可能性があります。収益に直接的な損失があるだけでなく、評判や顧客ロイヤルティなどへの損害につながる可能性があります。IBM® LinuxONE Expert Care Advancedは、LinuxONEアーキテクチャーによりもたらされるレジリエンス、セキュリティ、パフォーマンス、可用性を維持するのに役立つIBMのサービスです。

IBM® LinuxONE Expert Careは、LinuxONEエンタープライズ・グレードのLinux®サーバーの購入時にサービスとサポートを追加する別の方法を提供します。現在、IBM® LinuxONE 3931-LA1、3932-LA2、および 3932-AGLでご利用いただけます。

IBM Call Home機能と事前決定分析は、起こりうる障害を発生前に軽減することで、ミッションクリティカルなITインフラストラクチャーの高可用性を維持するのに役立ちます。

ビジネスニーズに合わせて適切な期間を選択

IBM Expert Careでは、お客様が利用期間を選択できるため、必要な期間で重要箇所がしっかりと保証されるだけでなく、保守コストを予測できます。

24時間年中無休で対応するIBM® LinuxONE Expert Care Advancedは、即日のオンサイト対応(リモート・サポートによる問題診断後)に加え、予測機能とファームウェアの修正/更新(リモートまたはオンサイト)サービスを提供します。



24時間年中無休でハードウェアに関するサービスを受ける

IBM® LinuxONEでは、ハードウェアに関するサービスおよび部品交換を1年間保証しており、24時間年中無休体制で即日対応(リモート・サポートによる問題診断後)が行われます。IBM® LinuxONE Expert Care Advancedでは、このレベルの保証を最大5年間延長できます。

585カ所の部品在庫拠点と420社の部品サプライヤーが稼働する24時間年中無休体制のサービス・ロジスティクスを提供するIBMのサプライチェーンでは、年間1,000万件を超える出荷と返品処理を支援しています。自動化されたシステムしきい値分析インジケータと同様のデバイスから収集された履歴データを活用し、多くの場合、部品を故障する前に交換しています。

リモートまたはオンサイトのコード読み込みによりファームウェアを最新の状態に保つ

システムを最適なレベルで稼働させ続けるには、コード読み込みの修正と更新が不可欠です。IBM® LinuxONE Expert Careを使用すると、ハードウェアおよびファームウェアの修正と更新をオンサイトの技術者に依頼するか、リモート支援を利用して自分で実装するかを選択できます。お客様に最適なほうをお選びください。

IBM Call Homeテクノロジーによる予測アラートの活用

ITシステムを維持するだけの「故障→修理」という考え方は、もはや十分ではありません。IBM® LinuxONEシステムには、IBM Call Homeが含まれています。IBM Call Homeを使用すると、構成とコード・レベル、システムと環境のしきい値、エラー・ログ、修復記録、コード・レベル、使用状況など、システムの健全性に関する重要な情報を分析することができ、Call Homeが問題を特定すると、チケットが自動的に作成され、リモートまたはオンサイトのサポート依頼手続きが開始されます。

IBMは、Call Homeにより収集されたデータを活用して、予測アラートを作動させます。お客様は、特にネットワーク・デバイスや、ITインフラストラクチャー全体でサポートのライフサイクルの終了が近づいている製品について、セキュリティーの脆弱性や製品の欠陥など、潜在的に危険にさらされている領域に関するアラートを受け取ります。

サポート範囲をカスタマイズ

これらの利点の多くは、IBM® LinuxONEの保証対象となっています。IBM® LinuxONE Expert Careを使用すると、システムの追加サポートの対象期間を選択できます。ご購入時に、保証を含めたサポート期間を最大5年間延長できます。このサポート・サービスのアプローチにより、保守コストがより予測可能になり、組織は高い可用性を維持し、IBM® LinuxONE製品の寿命全体を通して、ミッションクリティカルな要件に対応するための優先サービスを提供することを選択できるようになります。

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスを利用すると、ミッションクリティカルなシステムを24時間365日スムーズに稼働し続けることができます。

結論

IBM® LinuxONEへの投資を管理・保護し、ミッションクリティカルなワークロードに対する高可用性を一貫して維持することは困難な場合があります。IBM® LinuxONE Expert Careを使用すると、お客様にかかる保守コストが予測しやすくなり、デプロイメントとオペレーションにおけるリスクが軽減されます。レポート作成から解決まで、IBMを唯一のサポート源として利用することで、システムの可用性を大幅に最適化し、コストを削減し、従業員の負担を軽減できるため、他の分野やビジネスの優先事項に集中できるようになります。

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスをお勧めする理由

IBM Technology Lifecycle Services (TLS) 担当者はテクノロジー業界に豊富な専門知識があります。当社のエキスパートは、19,000を超えるIBMおよびその他OEMのハードウェアとソフトウェア製品をサポートしています。世界中に活動拠点を持つIBMではハードウェアとソフトウェアのサポート・サービスを包括的に提供しており、お客様のITポートフォリオ全体の依存関係を明確にすることができます。

IBMはサービス、技術サポート、信頼性に定評があるうえ、IBM製品開発とエンジニアリング・ラボにもアクセスできるため、実効性のあるアドバイスを提供し、問題解決に導きます。IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスを利用すると、ミッションクリティカルなシステムを24時間年中無休でスムーズに稼働させ続けることができます。

詳細情報

IBMが提供するサポート・ソリューションに関する詳細については、IBM担当員またはビジネス・パートナー®にお問い合わせいただくか、[IBM TLS expert](#)に直接ご連絡いただくか、ibm.com/jp-ja/services/systems-supportをご覧ください。

また、その他のIBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスの詳細は<https://www.ibm.com/jp-ja/services/technology-lifecycle-services>からご覧いただけます。

さらに、IBM Global Financingでは、ビジネスの成長に必要なテクノロジーの取得を支援する多数のお支払オプションをご用意しています。IBMが提供するIT製品およびサービスの取得から廃棄に至る完全なライフサイクル管理サービスの詳細については、<https://www.ibm.com/jp-ja/financing>をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

2019年6月

IBM、IBMロゴ、ibm.comは、世界の多くの国々で法的に登録されているInternational Business Machines Corp.の商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBM商標の最新のリストは、ウェブ上(www.ibm.com/jp-ja/legal/copytrade.shtml)の「著作権および商標情報」で入手できます。

JavaおよびすべてのJavaベースの商標およびロゴは、Oracleおよび/またはその関連会社の商標または登録商標です。

登録商標「Linux®」は、世界範囲における本商標の所有者であるLinus Torvalds氏の独占的ライセンス所有者であるLinux Foundationから提供されたサブライセンスに基づき使用されています。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBM が事業を展開しているすべての国において、すべての製品を利用できるわけではありません。記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。本書の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとします。IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は、自己の責任で関連法規および規則を順守しなければならないものとします。IBMは法律上の助言を提供することではなく、また、IBMのサービスまたは製品が、いかなる法規もしくは規則をお客様が順守していることの裏付けを、表明ならびに保証するものでもありません。

